

「むさしの地域創生推進ファンド2号」による KOTOBUKI Medical 株式会社への投資について

武蔵野銀行（頭取 長堀 和正）は、株式会社ぶぎんキャピタルと共同で設立した「むさしの地域創生推進ファンド2号」により、手術トレーニング用模擬臓器の開発・製造を行う、KOTOBUKI Medical 株式会社（埼玉県八潮市、代表取締役社長 CEO 高山 成一郎）への投資を行いましたので、お知らせします。

2018年に設立された KOTOBUKI Medical 株式会社では独自技術で開発したコンニャク由来の手術トレーニング用模擬臓器「VTT (Versatile Training Tissue)」を国内外のヘルスケア企業に供給するスタートアップ企業です。

「多孔質」「繊維質」「熱に溶けない」というコンニャクの特性を活かした「VTT」は人体組織によく似た触感と強度、伸縮性に加え耐熱性を備えており、鉗子から電気メス・超音波メスなど幅広い手術トレーニングに対応できる、世界的にも類例のない素材として注目されています。

また、植物由来であることから、動物や献体より手軽かつ環境面や倫理面において優れたトレーニング素材として医療技術の発展への寄与も大いに期待されています。

当行では、今後も「むさしの地域創生推進ファンド2号」の活用などを通じ、持続可能な地域経済・社会の創出に取組む企業や株式上場を目指す地元企業を応援してまいります。

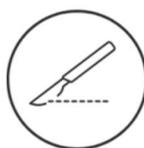
《投資先企業の概要》

社名	KOTOBUKI Medical 株式会社
代表者	代表取締役社長 CEO 高山 成一郎
本社所在地	埼玉県八潮市中央4-7-3
設立	2018年11月1日
事業内容	・VTT（コンニャク由来のトレーニング用模擬臓器）の製造・販売 ・医療関連機器の開発・製造・販売



- ・電気メス等のデバイス対応、縫合可能な強度
- ・色・形も自由に造型可能、腫瘍や血管も再現
- ・清潔で、院内使用可能、真空パックで常温での長期保存が可能

KOTOBUKI Medicalの実現したい未来



リアルな
手術トレーニング



動物を使わない
トレーニング



医療機器開発
評価の簡易化



医学生・医師の技向上



環境にやさしい
サステナブルな製品

次ページへ

《ファンドの概要》

名 称	むさしの地域創生推進ファンド2号投資事業有限責任組合
設 立 日	2024年1月25日
存 続 期 間	10年間
ファンド総額	10億円
投資対象先	・地域活性化に取り組む中堅中小企業 ・株式上場意向のある中堅中小企業 ・ベンチャー・スタートアップ企業

以 上

報道機関からのお問い合わせ先
法人コンサルティング部 法人営業グループ 高橋 一能
TEL (048) 641 - 6111 (代)